



平成 25 年度「桑名市日常生活圏域ニーズ調査『いきいき・くわな』」の 調査票提出者に対して「個人結果アドバイス表」を送付します。

桑名市では、できるだけ多くの皆さんが住み慣れた環境で生き生きと暮らし続けて人生の最期を迎えられるよう、「地域包括ケアシステム」の構築を目指しています。これは、日常生活圏域を単位として、自宅を始めとする「住まい」を確保した上で、「医療」・「介護」・「予防」・「日常生活支援」を一体的に提供するための地域づくりです。

その一環として、平成 26 年 1 月、初めて、「桑名市日常生活圏域ニーズ調査『いきいき・くわな』」を実施しました。これは、それぞれの高齢者について、元気なうちから、できるだけ早く、将来に医療や介護が必要となる要因を発見し、必要に応じて適切に支援するとともに、日常生活圏域ごとに、地域課題を把握し、地域資源を創出するためのものです。

その対象は、在宅の 65 歳以上の者のうち、

- ① 要支援又は要介護の認定を受けていない者
- ② 要支援 1・2 又は要介護 1・2 の認定を受けている者

です。平成 25 年度には、平成 25 年 12 月 1 日現在で 9,000 人を抽出し、そのうち、平成 26 年 6 月 13 日現在で 80.95% に相当する 7,286 人より、調査票が提出されました。

これを受けて、本日（4 日）、調査票が提出された者一人ひとりに対し、健康や日常生活に関して注意すべき点を期待した「個人結果アドバイス表」（別添 1）を送付します。その際には、介護予防教室等を案内するチラシ（別添 2）を同封します。

このように、日常生活圏域ニーズ調査を実施して「個人結果アドバイス表」を送付する取組みは、三重県下の 14 市中で松阪市に次ぐ 2 番目です。

問合せ先：保健福祉部介護・高齢福祉課
電話 0594-24-1170



ゆめはまちゃん